



所沢市議会議員

VOL 83 令和5年10月号

だれ一人見捨てない政治。



赤川ようじの 市政レポート

〒359-1151 埼玉県所沢市若狭3-2383-25

TEL:04-2947-3965 FAX:04-2947-3966 メール:tokorozawa@y-akagawa.jp

赤川ようじ公式ホームページ

y-akagawa.jp



9月議会報告

学校給食無償化、18歳までの医療費も無料へ

来年度から所沢市内小中学校の給食を無償化する事と子ども医療費の無料化も18歳まで延長すると藤本市長から明言されました。これまで何度も学校給食の無償化を求めてきましたが、予算の関係でできないとの答弁でしたが、一転無償化が約束されました。オーガニック浸透のためとされていますが、家庭の収入が上がらない中の引き続き物価高、子育て世代には願ってもない朗報だと思います。さらに今後も教育費無償化に向け発言していきます。また待機児童ゼロ作戦も来年度ゼロに向けての準備のために現在来年度予算編成を行っており、児童クラブの学校内教室を利用するの定員増や保育士のさらなる処遇改善など具体的な提案をこれからも行っていきます。

従来型保険証の存続を求める意見書提出

「マイナ保険証」の完全実施のため国は現在使用されている紙の従来型保険証を来年10月に廃止する事を計画しています。しかし、「マイナ保険証」が他人の個人情報と間違っただけで紐づけられたり、様々な問題が続出しており、特に保険証は処方箋など命に関わることも考えられます。現在全国平均でマイナ保険証の加入率は74%となっており、国も自治体もこの不安を払拭するため、いったん立ち止まってシステムを総点検すべきで同時に医療を受ける権利を保障するものとして健康保険証を存続すべきです。高齢者施設からは、入所者のマイナンバーカードや暗証番号を管理できないという声も上がっており、また、オンライン資格確認システムの運用を開始した医療機関では、不具合も多く報告されています。セキュリティを確保した上で、健康保険証とマイナンバーカードを一体化し、希望する人がマイナンバーカードを取得して、健康保険証としても利用すること自体は否定しませんが、国民皆保険の下、誰もが必要となるときに、必要な医療が受けられる体制を堅持するため、システムの総点検と健康保険証の存続がされるよう強く要望しました。また「インボイスの延期を求める意見書」「福島原発における処理水放出中止を求める意見書」も提出しました。

障がい者差別禁止条例改正、合理的配慮が義務化へ

障がい者に対する差別を禁止する条例「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」の一部改正案が全会一致で可決されました。これまで、市の条例では障がい者が何らかの助を求めた時、社会が当然行わなければならない配慮、合理的配慮を行うのは努力義務でした。それが国の法律改正を受けて、「事業者は、障害のある人に合理的配慮をしなければならない」と義務規定になります。事業者の中には市も入り具体的に来庁者への筆談やタブレットを使った、視覚、聴覚障がい者への対応、精神障がい者への対応も質しました。市は来年の4月からのこの条例施行に向けて、他の事業者の模範になるように十分準備するように意見を述べました。

滝山病院問題、関係機関に要望書を提出、現地調査

10月10日 10:30分「滝山病院問題を考える市民と議員連絡会議」メンバーとして厚労省での要望書提出に立ち会いました。また13:00分から同病院のある八王子市役所にも要望書を提出、14:30分 滝山病院を訪れ、申し入れ書を手渡す予定でしたが、敷地に入るのを断られました。1時間あまり、病院側と交渉後、16:40分 東京都にも要望書を提出しました。その後の記者会見を行い、マスコミにも実態説明を訴えました。

滝山病院問題では所沢市民が家族の同意なしで強制入院させられ、市職員が書類送検されており、まだその後どうなったのかわからない状態です。弁護士より市へ調査要望ありましたが、市は法律的に問題ないとしています。虐待問題でマスコミにも取りあげられ、まだ100名を超える患者が入院しており、病院の中がどのようになっているのかまったく分からず、八王子市も東京都も厚労省もほとんど何も行っていません。この問題は障がい者に対する人権問題であり、日本の精神医療の深い闇となっており、今後議会でも質していきたいと思えます。



市政報告会を開催します

市政報告会のお知らせ

10月22日(土) 午後2時～ 所沢西武百貨店8階バンケットルーム

